

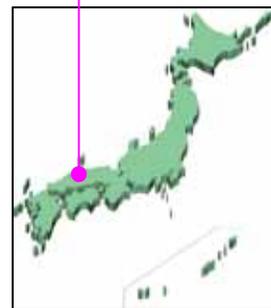


(日本全国鉄道お宝マップ)

# 登録有形文化財に若桜鉄道を一括登録

(鳥取県 Kさん)

# 大賞



日本全国鉄道お宝マップ  
(鳥取県)

## お宝豆知識

若桜鉄道は昭和5年に国鉄若桜線として開業して以来、約78年間地域住民と共に歩いて来ました。

当時沿線は林業を中心とした産業が活発であり、木材の運搬を主体とした輸送により採算が取れる鉄道でありました。しかし、自動車の発達により貨物がトラック輸送へと移行し、又、輸入木材に圧迫され国内林業が衰退したことにより昭和49年には貨物輸送を廃止しました。又、国鉄の経営破たん等により廃止路線リストに挙がり懸命な乗車運動にもかかわらず廃止が決定し、昭和62年沿線市町村、県による第3セクター方式の若桜鉄道として引き継ぐこととなりました。

若桜鉄道発足後も赤字は続き、駅舎改築等の資金的余裕は無く、昭和5年開業当時の建築物が多く現存しており、若桜駅構内にはSL時代を彷彿させる「手回し転車台」「給水塔」「炭台」等が残っておりレトロな雰囲気を醸し出しております。

この度、鳥取県文化課、町教育委員会の指導協力を得て若桜鉄道全体を登録有形文化財として登録すべく申請したところ7月8日正式登録となりました。

登録されたのは駅舎、乗降場、転轍番小屋、雪覆い、落石覆い、橋梁、転車台、給水塔など23施設です。

この登録を契機に若桜鉄道の歴史的文化的価値が再認識され、来訪されるお客様が増えることを期待すると共に若桜鉄道存続に向けての大きな力となることを願っております。





(鉄道を巡る、ちょっといい話)

部門賞

## さみしくないよ (愛知県 Tさん)

幼い頃、父の仕事の関係で、家族三人、大阪に住んでいました。おばあちゃんっ子の私なので、月に一度、祖母に会いに、名古屋に帰る鉄道の旅をととても楽しみにしていました。

景色を見たりおやつを食べたり、どんなことでも電車で過ごす時間は珍しく・楽しくて、「あっという間」に名古屋が近付き、ホームで待っていてくれる祖母の姿をみつけると嬉しくて、電車から降りるといつも飛びついていました。

しかし、数日後、当たり前ながら別れの時はやってきます……。ホームまで送ってくれている祖母と別れるのがさみしくてたまらず、同じ鉄道の旅なのに、帰りの電車の中は、私にとって行きとは別の空間でした。



今では一児の母となった私。足腰の弱くなった祖母と、当時の事をよく思い出して話しています。幼かった私は、帰りに送ってくれた祖母が、一人ホームに残された時の気持ちを想う余裕がなかったけれど、私と同じように相当さみしかったとの事。今では想像できます。

しかし、私が全く想像できなかつた有難い事が……。祖母の顔を覚えてくれた駅員さんがいらっしゃり、いつも一言二言声をかけて下さっていたようなのです。

その優しさを「一生忘れられない」と話しながら涙ぐむ祖母の姿を目にし、温かい気持ちに満たされながら、私も感謝の気持ちでいっぱいです。





(世界に伝えたい、未来に遺したい、鉄道からの車窓風景特選)

## なにもないのも、いいじゃないか

(千葉県 I さん)

# 部門賞



### 写真について一言

写真は、JR東日本岩泉線押角駅。(おしかど) 駅はあるが、駅の周りに道がない、家がない、人がいない。おまけに列車本数は3本しかない。(片道)

景色も山・山・山しかない。

今の世の中、なにもないというのも、いいと思います。





(「あったらいいな、こんな鉄道」、「私にも、一言、言わせて！」)

## 「夢の運転室展望ライブ」 (東京都Nさん)

部門賞

この企画は、インターネットを利用し、憧れの優等列車、眺望の良いローカル線や1度に多くの最新電車が見れる都会の路線などを対象とした、運転室からの展望を、カメラにてライブで配信するというものです。現在、路線、列車に限定したDVDは多く見受けられますが、これとは違う、「鉄」が夢見るライブの醍醐味です。

また、すばらしい眺望を紹介することで、「鉄」以外の一般の方も足を運びたくなり、現在低迷している鉄道利用の旅人を増加させることにもなります。

人気の列車(カシオペアなど)、新幹線(N700系)、眺望の良い路線(五能線、肥薩線大畑駅のスイッチバックと球磨川ライン、石勝線狩勝峠のカーブ、根室線の釧路湿原、小海線清里～野辺山、青函トンネルなどなど)、都会の路線(1度に多くの路線が併走する東京周辺)などを、パソコン画面から、当日ライブ配信ができるものをクリックし、その列車の特徴(豪華ディナーや寝台個室、N700系の運転台など)を紹介したり、路線の観光案内をPRしてから、ライブ配信するものです。走行音も郷愁を誘います。行きたくなれば、切符の手配も簡単に自動予約できれば最高です。

こんな夢の運転室展望ライブを是非開設してみたいものです。

